# Kodak

# iShow 1000
## Pico Projector

取扱説明書

# 目次

# 1 警告

## 米国の顧客へ

### FCC基準に準拠して家庭または事務所で使用する

本製品は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます。(1) 電波障害を起こさないこと。(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

## ヨーロッパの顧客へ

「CE」マークは本製品が安全、健康、環境および顧客保護に関して欧州要件に準拠していることを示しています。「CE」マークの付いた製品はヨーロッパでの販売を意図しています。

WEEE.[(コマ付きのごみ箱とx印WEEE補遺IV)]の記号は、EU諸国において電子、電気機器が分別収集されることを示しています。機器を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。

## 本マニュアルについて

KODAK iShow 1000 ピコプロジェクターをお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、今後のため、本マニュアルをきちんと保管してください。

- WindowsはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国に登録されている商標で、著作権はMicrosoft Corporationが保有しています。
- 本マニュアルに記載されたブランド名または商品名はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者の登録商標です。
- 本マニュアルには、KODAK iShow 1000 ピコプロジェクター（以降プロジェクター）の使用法に関する取扱説明が記載されています。

# 2 安全上の注意

ここに示した注意事項は、プロジェクターを正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 不適切に廃棄したり、高温にさらさないようにしてください。
- 濡れた環境や湿った環境でプロジェクターを操作しないでください。浸水すると、感電や他の破損の原因となります。
- プロジェクターにダメージを与えてしまう可能性があるので、極端な温度環境に放置しないでください。
- 破損したプロジェクターは操作しないでください。プロジェクターを分解した場合は保証が無効になります。
- プロジェクターを使用中、人の目に直接向けないよう注意してください。
- 水に濡れやすい場所や砂のある場所にプロジェクターを放置・保管しないでください。故障や破損の原因になります。
- プロジェクターは動物や幼児の手の届かないところに保管してください。
- 不安定な場所や振動する場所に置かないでください。

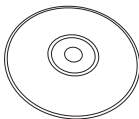
- プロジェクターのレンズが汚れている場合、柔らかい布で軽く拭いてください。
- 次のような場所でプロジェクターを使用しないでください。

  1. 雨の当たる場所や、非常に湿気、ほこりの多い場所。
  2. 直射日光や高温の場所に放置しておくとプロジェクターが発火する可能性があります。例えば、夏に窓の閉め切った車の中など。
  3. モーター、トランス、磁石など磁気の影響を受けやすい場所。

# 3　準備をする

## 付属品一覧

パッケージにはご購入されたプロジェクター、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください。

かんたん操作ガイド

CD-ROM

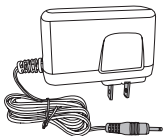
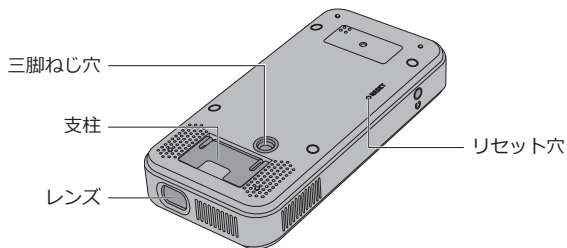
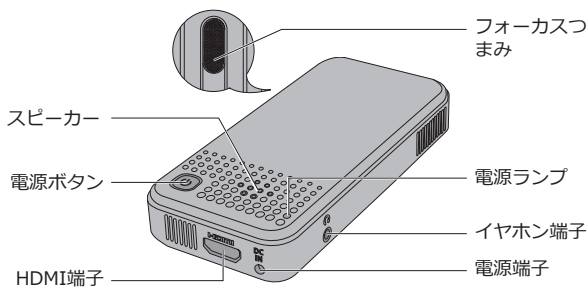
保証書

サービスカード

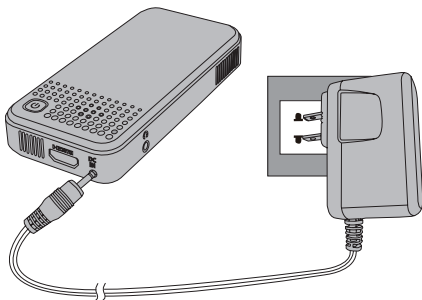
AC アダプター

## 各部名称

フォーカスつまみ
スピーカー
電源ボタン
電源ランプ
イヤホン端子
電源端子
HDMI端子
DC IN

三脚ねじ穴
支柱
レンズ
リセット穴
RESET

## 電池を充電する

1. プロジェクターの電源をオフにして、AC アダプターと接続してください。

2. AC アダプターのプラグを壁のコンセントに差し込んで、充電します。

3. 電源ランプ:
   赤: 充電中
   緑: 充電完了

4. 電池の寿命を最大限に延ばすために、最初の充電は4時間以上行ってください。

## iShow (wireless projector) をダウンロードし、インストールする

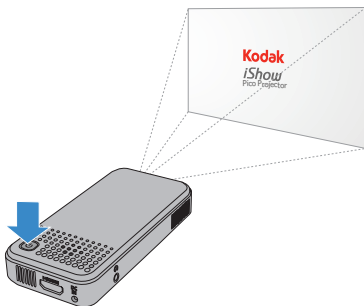
1. iOSシステムユーザー：App Store ® から、 **iShow (wireless projector) アプリケーション** を検索し、ご使用のデバイスにダウンロードし、インストールしてください。

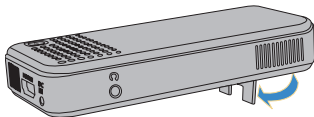
2. Androidシステムユーザー：Google Play ® から、 **iShow (wireless projector)アプリケーション** を検索し、ご使用のデバイスにダウンロードし、インストールしてください。

3. Windows 8/7ユーザー： CD-ROM（付属品）内のソフトウェア項目で、**iShow (wireless projector)アプリケーション**をインストールしてください。

# 4　基本操作

## プロジェクターを起動する

1. 電源ボタン ⏻ を 3 秒長押しすると、プロジェクターの電源がオンになり、電源ランプが点灯します。
2. 電源ランプが点灯後、プロジェクターは投写を開始します。

## 支柱を使用してプロジェクターを設置する

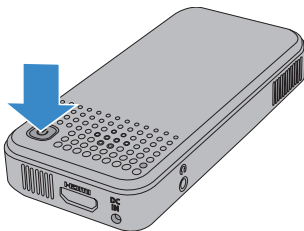
1. 指で支柱を起こします。

2. プロジェクターを安定した場所に設置します。

## フォーカスを調整する

フォーカスつまみを動かして、映像のフォーカス（焦点）を調整します。

## プロジェクターの電源をオフにする

1. プロジェクターの電源を切る前に、投写しているファイルを閉じてください。

2. 電源ボタン ⏻ を 3 秒長押しし、プロジェクターの電源をオフにします。

## プロジェクターをリセットする

プロジェクターの操作中に、ハングアップ現象が発生した場合は、細長い棒先（ピン形状）で、リセット穴からスイッチを押してください。プロジェクターはオフして、正常な状態に回復します。

# 5 アプリケーションを使用し、投写を開始する

## iOSシステムの投写操作

ご使用のシステムに対して、異なったフォーマットのファイルは、互換性に差異が生じて、一部フォーマットのファイルを読み取れない可能性があります。ファイルを投写するとき、エラー現象を発生させないために、PDFフォーマットのファイルで投写することをお勧めします。

ご使用のデバイスは、一つのワイヤレス信号のみと接続することができるため、デバイスを使用して、ワイヤレスネットワークで、プロジェクターと接続しても、ストリーミングの放送機能（例えば、YouTube ® や Facebook ® など）、及びWebブラウザの使用ができません。

1. ワイヤレスネットワークで、デバイスとプロジェクターを接続する前に、デバイスに **iShow (wireless projector) アプリケーション** をダウンロードし、インストールしてください。
   その後、投写するファイルをデバイスに転送してください。
2. **iShow (wireless projector) アプリケーション** をダウンロードするには、デバイスの電源をオンにして、ワイヤレスネットワークに接続し、App Store ® を開き、**iShow (wireless projector) アプリケーション** を検索して、ダウンロードし、インストールしてください。
3. USBケーブルで、デバイスとパソコンを接続して、パソコン内の iTunes ® アプリケーションを開いてください。
4. iTunes ® アプリケーションの表示インタフェース内にある、デバイスの名称（iPhone、iPad あるいは iPod touch）を検索してクリックすると、「概要」のインターフェイスに入ります。
5. デバイスの「概要」ウィンドウ上面にあるコマンドラインの「APP」をクリックし、アプリケーション表示インターフェース下面の **iShow (wireless projector) アプリケーション** をクリックします。投写ファイルを追加する場合は、「追加」をクリックしてください。
6. 投写ファイルの追加が完了したとき、USBケーブルを取り外して、デバイスとパソコンの接続を解除してください。

7. 投写する前に、電源ボタン ⏻ を 3 秒長押しし、プロジェクターを起動させます。

8. プロジェクターの電源をオンにすると、ワイヤレスネットワークは自動的に「iShow-XXXX」信号(信号の名称は SSID の名称と同じで、ユーザで設定することができます)を検出します。この信号を選択すると、デバイスとプロジェクターが接続されます。

9. デバイスにインストールした、 **iShow (wireless projector) アプリケーション** iShow をクリックすると、デバイスにファイル選択インターフェースが、以下の図のように表示されます。

10. 投写を行うファイルを選択してクリックします。

11. ファイルの画面上、3種類のドキュメント（文書、写真、ビデオファイル）から選択することができます。

12. ドキュメントを選択すると、インターフェイスに同様のドキュメントが表示されます。投写ドキュメントをクリックすると、投写が開始します。投写が終了すると、ドキュメントを選択するインタフェースに戻り、次の投写ドキュメントを選択することができます。

## Androidシステムの投写操作

1. ワイヤレスネットワークで、ご使用のデバイスとプロジェクターを接続する前に、デバイスに **iShow (wireless projector) アプリケーション** iShow をダウンロードし、インストールしてください。
   その後、投写するファイルをデバイスに転送してください。

2. **iShow (wireless projector) アプリケーション** をダウンロードするには、ご使用のデバイスの電源をオンにして、ワイヤレスネットワークに接続し、Google Play ® を開き、**iShow (wireless projector) アプリケーション** を検索して、ダウンロードし、インストールしてください。
3. USBケーブルでデバイスとパソコンを接続して、投写するファイルをデバイスにコピーしてください。
   ワイヤレス方式（Eメールあるいは他の方法）で、ファイルを転送するときは、先にファイルをデバイスにダウンロードして保存します。
   **iShow (wireless projector) アプリケーション** は、自動的にダウンロードしたファイルを検索します。
4. 投写ファイルの追加が完了したとき、USBケーブルを取り外して、デバイスとパソコンの接続を解除してください。
5. 投写する前に、電源ボタン を３秒長押しし、プロジェクターを起動させます。
6. プロジェクターの電源をオンにすると、ワイヤレスネットワークは自動的に「iShow-XXXX」信号(信号の名称はSSIDの名称と同じで、ユーザで設定することができます)を検出します。この信号を選択すると、デバイスとプロジェクターが接続されます。
7. デバイスにインストールした、 **iShow (wireless projector) アプリケーション** をクリックすると、デバイスにファイル選択インターフェースが、以下の図のように表示されます。

初めて **iShow (wireless projector) アプリケーション** を使用するとき、アプリケーションは自動的にサポートする全部の投写ファイルを検索します。検索時間はデバイスのシステムとファイル数量により、異なります。

8. 投写を行うファイルを選択してクリックします。

9. ファイルの画面上、3種類のドキュメント（文書、写真、ビデオファイル）から選択することができます。

10. ドキュメントを選択すると、インターフェイスに同様のドキュメントが表示されます。投写ドキュメントをクリックすると、投写が開始します。投写が終了すると、ドキュメントを選択するインタフェースに戻り、次の投写ドキュメントを選択することができます。

## Windowsシステムの投写操作

1. CD-ROM（付属品）内のソフトウェア項目で、**iShow (wireless projector) アプリケーション**をインストールしてください。

2. 電源ボタン ⏻ を 3 秒長押しし、プロジェクターを起動させます。

3. プロジェクターの電源をオンにすると、ワイヤレスネットワークは自動的に「iShow-XXXX」信号(信号の名称は SSID の名称と同じで、ユーザで設定することができます)を検出します。この信号を選択すると、デバイスとプロジェクターが接続されます。

4. デバイスにインストールした、 **iShow (wireless projector) アプリケーション** iShow をクリックすると、デバイスにファイル選択インターフェースが、以下の図のように表示されます。

5. **iShow (wireless projector) アプリケーション**のインタフェースにある設定ボタン をクリックします。ファイル管理で、「ファイルフォルダを追加」をクリックして、投写するファイルを追加します（最多10個のファイルを追加できます）。ファイル管理で、「ファイルを開く」をクリックして、単独なファイルを選択し、「送信」をクリックして投写を行います。

6. 設定ボタン をクリックすると、ファイル選択インタフェースに戻り、ファイルの画面上、3種類のドキュメント（文書、写真、ビデオファイル）ファイルを選択することが出来ます。

7. ドキュメントを選択すると、インターフェイスに同様のドキュメントが表示されます。投写ドキュメントをクリックすると、投写が開始します。投写が終了すると、ドキュメントを選択するインタフェースに戻り、次の投写ドキュメントを選択することができます。

ワイヤレスネットワークの転送速度はデバイスのハードウェア構成により異なります。

**iShow (wireless projector) アプリケーション**を使用するとき、プログラムの正常動作を保つために、正規のオペレーティングシステムを使用してください。

**iShow (wireless projector) アプリケーション**はクラウド資料の使用をサポートします。しかし、クラウドでダウンロードするとき、クラウドソフトウェアはファイルの名称を変更する可能性があります。

Windowsシステムで、Officeファイルを投写するとき、Microsoft Officeバージョンは、2007以前の古いバージョンの場合、下記二つのプラグインをインストールしてください。

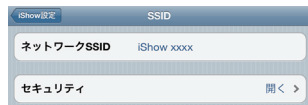
: .netframework3.5download address:
: http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=21
: Microsoft Office 2007 plug-in download address:
: http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=7

# 6 アプリケーションを設定する (ワイヤレスのみで使用する)

**iShow (wireless projector) アプリケーション**ウィンドウ内で、設定ボタン ⚙ をクリックすると、アプリケーションを設定することができます。具体的な操作はデバイスのシステムにより行います。

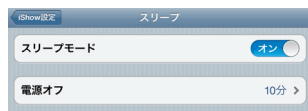
以下の３つのオプションは設定することができます。

## SSID

ワイヤレスネットワークの名前を設定することができます。ネットワークのセキュリティ設定もでき、ワイヤレスネットワークの開放モードあるいは暗号化モードに設定することができます。

設定したSSID暗号を忘れたときは、細長い棒先（ピン形状）で、リセット穴からスイッチを押して、プロジェクターをリセットさせ、出荷の設定にもどします。

電源ボタン ⏻ を 3秒長押しし、起動させます。

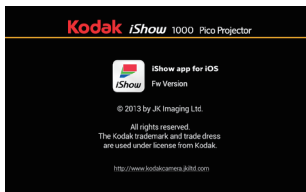
## スリープ

この設定により、休眠モードを開き、電池の寿命を延ばすために、連続投写時間を設定します。
3種類のメニューから選択することができます（10分、15分、20分）。

## 台形補正を調整する

⊕ ⊖ を使用して、投写画面のゆがみを調整することができます。最適な形状に調整してください。

## 情報の提供

このオプションには、 **iShow (wireless projector) アプリケーション**のバージョンと著作権の帰属について、記載してあります。

# 7 HDMIを使用して投写を開始する

ご使用のデバイスが、HDMI出力をサポートしている場合は、HDMIケーブル（別売り）を使用して、デバイスとプロジェクターを接続することができます。**iShow (wireless projector) アプリケーション**に接続しなくても、投写画面にデバイスの画像が表示されます。

HDMIケーブルを接続して投写を行うとき、ライブストリーミングのアプリケーション（YouTube ® や Facebook ® など）を使用することができます。

1. プロジェクターの電源をオンにします。
2. HDMIケーブルを使用して、HDMIをサポートするデバイスとプロジェクターを接続すると、投写画面にデバイスの画像が表示されます。

iOSシステムの制限説明：

（1） iPad1、iPhone4以前、iPod touch4以前のバージョンは、HDMIサポートにより、画像と動画のみ投写できます。

（2） iPad2以降、iPhone4S以降および新バージョンでは、HDMIサポートにより、操作画面を投写できます。

HDMIを使用して投写を開始するときは、プロジェクターのワイヤレスネットワーク機能は使用できません。

HDMIを使用して投写するときの画像サイズは以下の通りです。

640x480P [60Hz (4:3)],
720x480P [60Hz (4:3)/60Hz (16:9)],
720x576P [50Hz (4:3)/50Hz (16:9)],
1280x720P [50Hz (16:9)/60Hz (16:9)],
1920x1080P [23.97Hz (16:9)/24Hz (16:9)/25Hz (16:9)/29.97Hz (16:9)/ 30Hz (16:9)]

# 8 プロジェクターFWバージョンの更新

最新のFWバージョンが表示されているときは、次の手順で更新をおこなってください。

1. 最新のFWバージョンをパソコンのハードドライブにダウンロードしてください。
2. プロジェクターの電源をオンにして、ACアダプターと接続してください。
3. ワイヤレスネットワークを使用して、プロジェクターとパソコンを接続します。Webブラウザを開き、IP(192.168.203.1)を入力すると、FWバージョンの更新インタフェースに入ります。
4. 更新インタフェース上の表示に沿って操作を行ない、プロジェクターのFWバージョンを更新してください。

パソコンを使用してのみ、FWバージョンの更新ができます。

使用するWebブラウザは、Javascript support機能が必要になります。

プロジェクターFWバージョンの更新は、以下のブラウザで行なうことができます。
Firefox 12以降
IE 8以降
Google Chrome 18以降
Opera 12以降
Windows版Safari 5.1以降
SafariとMAC OS X 6.0以降

# 9 仕様

| | | |
|---|---|---|
| プロジェクター | タイプ | DLP方式 |
| | 投写画面サイズ | 12.7-127cm（5－50インチ） |
| | 投写距離 | 約16.5-165cm |
| | 解像度 | 854×480 画素 |
| | イメージ輝度 | 50ルーメン |
| | コントラスト比 | 500:1 |
| コネクター | | 電源端子，イヤホン端子，HDMI（Type A） |
| スピカー | | ミックスされたステレオ出力 |
| ワイヤレスネットワーク | | ○ |
| 投影ドキュメント類型 | 写真 | *.jpg, *.png; photo supports up to 24 mega-pixels |
| | ビデオファイル | *.3gp, *.mp4, *.mov, *.m4v; supports up to 1080p30 |
| | 文書 | Microsoft ® Word ® (*.doc, *.docx; Office 2003, 2007 and 2010) |
| | | Microsoft ® PowerPoint ® (*.ppt, *.pptx; Office 2003, 2007 and 2010) |
| | | Microsoft ® Excel ® (*.xls, *.xlsx; Office 2003, 2007 and 2010) |
| | | Adobe PDF (*.pdf) |

| システム | Android 2.3.0以上、iOS 4.3.1以上、<br>Windows 7、Windows 8 |
| --- | --- |
| フォーカス調整 | 手動 |
| 電源 | 内蔵の充電式リチウムポリマー電池<br>3.7V 2800mAh |
| 投写時間 | 約90分 |
| 動作環境 | 温度: 0～35℃<br>湿度: 10～80%（結露しないこと） |
| 保存環境 | 温度：0～45℃<br>湿度: 0～60%（結露しないこと） |
| 寸法（幅×高さ×奥行き） | 約125.0×60.0×22.5mm |
| 質量 | 約165g |